

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤマダ電機テックランドNew鴨宮店	階数	地上3F
建設地	小田原市鴨宮631-1の一部	構造	S造
用途地域	準住居地域、準防火地域	平均居住人員	25人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,800時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2017年3月22日
敷地面積	6,608㎡	作成者	(株)ディーエス設計
建築面積	3,346㎡	確認日	2017年3月23日
延床面積	9,661㎡	確認者	(株)ディーエス設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	駐車場、駐輪場、エントランス、売り場等を明確にゾーン分けすることで、店舗として機能的な動線計画とした。搬入車ルートは集約して一般車両となるべく交差をしないように考慮した。	その他
Q1 室内環境	シックハウスに配慮して、建材は全て☆☆☆☆を採用した。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	省エネルギー法の基準を満たしている。	Q2 サービス性能
LR2 資源・マテリアル	部材の採用に当たっては、躯体と仕上材の分別が容易となるよう配慮した。	LR3 敷地外環境

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される